

京都府議会 2月定例会が 2月 21日に開会、24日からは本会議での論戦が始まりました。一般質問の日程と、日本共産党議員の質問日時は以下のとおりです。

- 2月 28日 (月) 一般質問 (後1時)
- 2月 29日 (火) 一般質問 (後1時)
- 3月 1日 (水) 予算委員会書面審査 (8日まで)
- 3月 9日 (木) 本会議 (1999年度補正予算と追加議案提案)
- 3月 10日 (金) 常任委員会 (1999年度補正予算と追加議案委員会採決)
- 3月 13日 (月) 本会議 (1999年度補正予算と追加議案議決)
- 3月 17日 (月) 予算委員会総括審議 (テレビ放映あり)
- 3月 21日 (火) 常任委員会
- 3月 22日 (水) 特別委員会
- 3月 23日 (木) 予算委員会採決
- 3月 24日 (金) 閉会本会議

日本共産党の一般質問者と日時

- | | | | | |
|------|------------|------------|-----|--------------|
| 一般質問 | 荘司泰男 (右京区) | 2月 28日 (月) | 2番目 | 午後 1時 30分頃から |
| | 新井 進 (北 区) | 2月 29日 (火) | 2番目 | 午後 1時 30分頃から |
| | 松尾 孝 (伏見区) | 2月 29日 (火) | 4番目 | 午後 3時頃から |

請願の締め切り

3月 7日 (火) 午後 5時

- 他会派の代表質問大要をご紹介します。

松尾忠昌 (公明党、山科区) 2000、2、24

当初予算と今後の財政運営について

【松尾忠昌】 当初予算は超緊縮型だが、不況・雇用、福祉に重点を置いており高く評価する。571億円の財政健全化をしたが、法人二税の大幅減収で、負債残高は1兆円を突破するなど、今後の財政運営は極めて深刻な状況。

知事は外形標準課税の導入を求めてきたが、新たな状況の下での認識は。

公共事業など投資的経費は、財政健全化の一環でやむを得ず大幅に削減された。本府の景気回復への影響を危惧するが、今後の対策を講じるべきではないか。

寝たきり老人等介護激励金は、介護保険の実施により、使命を終え廃止する方針だが、私も介護激励金を必要としない介護サービスの確立が必要との考えではあるが、見直しは介護保険の実状を見極めてからでもよかったのではないか。

【知事】 論議を通じ、全国的制度としての外形標準課税の導入の気運が高まりかねての要求が実現することを期待する。知事会としても緊急要望をしたが、副会長でもあるので具体化へ向けなお一層の努力をする。

投資的経費は喫緊の課題、不況雇用対策として極めて大きな役割を果たしている。事業の実施にあたり、発注方法に更に工夫し、府内中小企業者への発注機会の拡大や、雇用の創出に最大限の配慮をする。公共予備費を始めとする、国の経済対策等に基く公共事業などについては有利な財源が活用できるので、今後も積極的に国に対し要望を強め対応する。

介護保険を始め、家族の方々の心身の負担を軽減する施策に積極的にとりくむ。

これまで制度の対象とされていた寝たきり老人の殆どが新制度の手厚い介護を受けられると想定されている。寝たきり老人等介護支援事業は、介護制度の新設やその趣旨を勘案しその施策の充実により対応することとした。これらの制度を利用して家族の負担がなくなるので、介護保険や高齢者介護予防等支援事業などの円滑な実施を図り、負担が最大限軽減されるよう努める。

今後実施状況を見守り、国の施策を見、市町村の意見を聞き適切な対応をする。

子育て支援対策について

【松尾忠昌】 一時保育の利用要件の大幅緩和と全保育所での実施のため府の補助要綱を改めるとともに、実施主体の市町村への支援と国への働きかけが必要ではないか。

不妊治療の医療保険適用へ向けた府の取り組みへの考えは。

市町村の特性活かした子育て支援策実施のため、府の情報提供が必要。市町村担当者の小子対策先進国視察・研修制度を創設すべきだが考えは。

【知事】 一時保育の一層の普及をはかる。不妊治療の情報提供や相談体制について検討する。

子育て支援施策については市町村、関係機関と協力し、住民のニーズに合った施策の更なる推進に努める。

バリアフリー化について

【松尾忠昌】 福祉のまちづくり条例施行の実施による実績と今後。府内公共交通機関や駅舎の整備改善状況は。

道路整備、府営住宅などの設備改善状況と今後の計画。民間住宅の改善のための相談支援態勢の整備状況は。

真のバリアフリー化をすすめるため、障害者や前期高齢者が自治会やサークルを通じ近隣住民との親密な交流を培えるようにすることが好ましくないか。

【知事】 施設建設時の事前協議は1400件を越え、整備基準適合証は約700件交付。歴史的文化財に気軽に親しめる環境作りへの支援も、平等院など8カ所で実施。既存駅舎

8カ所へのエレベーター設置や、橋上駅化などにも支援。通学路や駅前の道路への平坦で幅の広い歩道の整備をすすめ、既存の歩道の段差解消にも取り組んだ。府営住宅の改善エレベーター設置にも順次取り組んでいる。

民間住宅には、この4月からの介護保険や重度障害者に対する支援事業で支援する。

地域社協やボランティア団体とも連携しながら地域活動としての心のふれあいにも支援している。バリアフリー化に向け、国にも働きかけ、市町村とも連携し、全庁あげて取り組む。

信用金庫再編対策について

【松尾忠昌】 京都みやこ信金、南京都信金の京都中央信金への事業譲渡発表後の府の対応を評価するが、両信金利用者の相談体制作りと中小業者へのサポートが重要と考えるがどうか。

両信金の雇用問題は第一義的には当事者間の問題。しかし、きびしい雇用情勢であり関係行政機関の支援が必要と考えるがどうか。

【知事】 金融監督庁や近畿財務局に地域経済安定のため最大限の対応を要望した。自治体や関係団体で「連絡会議」を開催し、連携強化を申し合わせた。

中小企業総合センター、宇治振興局に相談員を配置するなど相談窓口の強化を考える。

職員の雇用については当事者である信用金庫で雇用の確保が図られ、やむ終えず離職者が発生する場合には再就職先の確保について最大限努めるよう強く要請した。両信金も雇用対策本部などを設置した。今後、関係職安が両信金の雇用対策本部と協力し、必要に応じ職業相談会の開催などきめ細かい対策を進める。

新年度当初予算でも、再就職促進対策事業を大幅に拡充するとともに、国の助成制度の活用も検討し、引き続き状況把握に努め適切な対策に取り組む。

教育問題について

【松尾忠昌】 中高一貫教育導入への取り組みと今後の計画は。

2002年度からの邦楽教育は楽器、教材、指導者をセットにした民間講師の派遣が必要と考えるが、体制作りと準備状況はどうか。

NIE（教育に新聞を）積極的に導入すべきだが考えは。

【教育長】 中高一貫教育は、研究会議のまとめや、研究校での成果をふまえ、府立学校のあり方懇話会、入学者選抜や教育制度にもかかわる問題として更に検討してもらいたい。

府は邦楽の人材や文化に恵まれており、有効に活用するとともに、楽器の整備については市町村に今回の改訂の趣旨の理解を図り、連絡を密にし対応する。

新聞文化財団指定の指定校枠拡大の機に積極的に参加し、情報活用能力の育成に努めたい。

養護学校の「医療的ケア」対策について

【松尾忠昌】 医療的ケアを必要とする障害児の養護学校通学を、父母の付き添いの負担をなく保障すべきだが所見を問う。

【教育長】 今日的な課題と認識。文部省と厚生省の協議の中で、医師、看護婦、家族以外の医療行為は医師法上問題があり、ガイドライン策定には時間がかかる。本府では、医療的ケアは保護者が行うことを原則としているが、保護者の依頼と医師の指導の下、研修を受けた教職員が可能な範囲で限定的に行っている。

学校における医療的バックアップ体制については、全国の教育長協議会で研究協議を行っており、その方向性や国の同行を注視したい。

京都市長選挙にかかわる、反共攻撃

【松尾忠昌】 共産党の選挙は市民のためではなく、共産党のためであり、彼らの主張には、すり替え、ごまかし、嘘やデマ宣伝が多すぎる。こうした巧妙な作戦と莫大な資金や労力を投入した運動を持ってしても、市民の良識には勝てなかった。知事の率直な御感想を問う。

【知事】 府政と力を合わせて進むことのできる市長さんの当選を強く望み、行動した。

京都市民の皆様の良識ある審判が下された。

選挙の結果は、長引く不況など、京都の経済情勢が極めてきびしい重大な時期、この時期に府市協調で頑張れという京都市民の期待の現われと認識。市長と力を合わせ、府市相互の信頼のもとに、緊密な協力協調関係を維持して、不況・雇用対策や、小子・高齢化対策など、この難局を乗り切るための取り組みを強めたい。

勝負はやはり、フェアプレイじゃなければいけないということを教訓にした。

日野小学校児童殺害事件について

【松尾忠昌】 事件捜査の経過と対応の状況、犯行の動機についての考えは、本件の総括を行い今後の教訓にすべき。

【属警察本部長】 質問にお答えする前に、議長のお許しを得て一言申し上げたいと思います。幼くしてなくなられました中村俊希君のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、御遺族の皆様に衷心よりお悔やみを申し上げます。

質問に答えます。

今回の一連の捜査については、困難な捜査環境下において、府警としてはできる限りの操作を行ったものであり、今後更に必要な捜査をつくし全容解明につとめる所存ではありますが、被疑者が自殺に至ったことは誠に残念であり、任意同行の具体的やり方等、今後の捜査のあり方を考える上において、重く受け止めなければならないと考えております。

今回の一連の捜査を検討して、反省教訓とすべき事柄については、今後の捜査に十分活かしていきたい。